

質問質疑

市政のこころを問う

この定例会では3月4日・5日・8日の3日間で、17人が登壇し、42項目にわたり、市政について質問質疑が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問質疑項目(発言順)(※)：掲載した項目

- 蜂須賀 信明 議員
 - ※1 刈谷市の働き方改革の推進について
 - ※2 刈谷市の新型コロナ感染症対応について
- 黒川 智明 議員
 - ※1 刈谷市教育行政方針について
 - ※2 刈谷市教育行政方針について
- 谷口 睦生 議員
 - ※1 災害時における高齢者等の避難支援について
 - ※2 心のバリアフリーの推進について
- 鈴木 浩二 議員
 - ※1 地震対策アクションプランについて
 - ※2 スポーツ施設の環境整備について
- 鈴木 正人 議員
 - ※1 放課後児童クラブについて
 - ※2 教育行政方針について
- 葛原 祐季 議員
 - ※1 中小事業者への支援について
 - ※2 依佐美地区のまちづくりについて
- 星野 雅春 議員
 - ※1 依佐美地区のまちづくりについて
 - ※2 依佐美地区のまちづくりについて
- 中嶋 祥元 議員
 - ※1 市民の安全安心を向上させる施策について
 - ※2 市民の安全安心を向上させる施策について
- 松永 壽 議員
 - ※1 令和3年度施政方針について
 - ※2 令和3年度教育行政方針について
- 城内 志津 議員
 - ※1 令和3年度当初予算について
 - ※2 子どもの読書活動の推進について
- 鈴木 網男 議員
 - ※1 野田新町駅周辺について
 - ※2 コロナ禍での事業支援、補助金のあり方について
- 山本 シモ子 議員
 - ※1 2021年度(令和3年度)予算案について
 - ※2 市長の施政方針について
- 深谷 英貴 議員
 - ※1 生活保護申請手続きについて
 - ※2 市民への情報提供と市民からの情報収集について

質問・答弁がホームページから映像で御覧になれます。
「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



蜂須賀 信明 議員

職員テレワークは新型コロナの収束にかかわらず推進すべき!!
働き方改革の一環として、本格実施に向けた検討を進める

【問】 新型コロナウィルス感染症拡大防止の取組として、職員が実施しているテレワークはどのようなものか。

【答】 本市のテレワークは、職員が職場での担当業務を自宅で行う在宅勤務を指し、勤務の分散化を図るため、令和2年5月7日から試行的に実施している。

【問】 テレワークで職員はどのような仕事をしているのか。

【答】 テレワークで実施しているのは、申請手続や相談を受け付ける窓口業務等以外の業務である。内容は、担当業務に係る調査研究、企画書や会議資料の検討作成、公共工事に係る設計書の作成などが挙げられる。



新型コロナを契機として、多様な働き方の推進を

黒川 智明 議員

長期的な視野で学校教育の充実と働き方改革の両立を!!
きめ細やかな授業を推進することもさらなる業務の効率化を図る

【問】 令和3年度に進める少人数授業とティーム・ティーチング授業のメリットデメリットは。

【答】 メリットは、教員が個々の子供に関わる時間が増え、子供の理解度や習熟度に合わせたきめ細やかな学習支援を行える。デメリットは、複数の教員が同時に指導を行うため、新たな打合せ時間が必要となる。

【問】 効率的な授業の効果は期待できる。一方、その拡充を推進する必要があるか。

【答】 近年、激甚化する自然災害では、高齢者や障害者などの災害弱者が逃げ遅れ、犠牲になるケースが後を絶たない。避難行動要支援者名簿の作成だけでなく、事前に避難方法を決めておくことが課題と考えている。

【問】 ゾーン30内の速度抑止には、警察の協力が必要と考えているか。

【答】 地区からの要望に基づき、必要に応じて、ゾーン30内の取締りを警察に働きかける。

【問】 平成26年度から設置を推進した街頭防犯カメラの効果は大きい。さらなる防犯カメラ設置等を含め今後の防犯対策は。

【答】 警察が新たに実施する「まちの防犯診断」において、防犯設備士の有資格者が防犯上の危険箇所等を提示すると聞いている。その結果に基づいた場所への対策を考えている。

【問】 他市の事例を参考に、ニーズや効果等を含め調査、研究をしていく。

【答】 他市の事例を参考に、ニーズや効果等を含め調査、研究をしていく。

【問】 同様な支援を導入する考えは。

【答】 同様な支援を導入する考えは、あると認識している。

援者などをあらかじめ決めておく計画で、一部の地区で作成されている。

【問】 個別計画作成の課題は何か。また、今後の取組は。

【答】 避難時の支援者が見つからないこと、要介護度や障害の程度など個人情報提供に同意が得られないことなどが課題である。引き続き、民生委員や自主防災会の方々と連携、協力し、作成の促進を図っていく。



災害発生時に高齢者等が逃げ遅れることがないよう対策を(グループホームでの訓練)

鈴木 浩二 議員

放課後児童クラブのさらなる受入れ緩和と祝日受入れ実施を!!
保護者が夜勤の場合の対応についても前向きに検討していく

【問】 放課後児童クラブの受入れ緩和を段階的に進めながらも、定員拡大を図った結果、通期の申込者の待機児童がいなくなった。夜勤のある保護者に対し通勤時間を考慮するなど、さらなる受入れ緩和についての見解は。

【答】 今後も待機児童がいらない安全な受入れができる体制の確保を優先するが、夜勤の保護者への対応も前向きに検討する。

【問】 以前、祝日受入れについて質問した際には「祝日の開設は現在予定がなく、就労環境の状況と保護者の要望等の把握に努める」と回答された。アンケートによりニーズを把握できたと思うが、実施に向けた見解は。

【答】 祝日開設について、ニーズがあることは認識しているが、支援員の確保が常に課題になっている。課題の解決に向けて、引き続き調査研究を進め、新たな支援員の確保にも取り組む。

【問】 コロナの収束に向け、ワクチン接種が円滑に進むよう積極的に取り組んでいく必要がある。集団接種の訓練を実施したが、その詳細と課題は。

【答】 会場候補の一つとして予定している保健センターにおいて、運営の問題点や課題の洗い出しを目的とし、ワクチン接種対策チームの職員を中心とした約60人で実施した。実際と同様に設営し、手指消毒から接種後の経過観察までの一連の流れを行った。想定外のエリアにおいて接種者が滞留した事例があり、



消費増税やコロナ禍の今こそ市民生活を守る施策を

【問】 コロナの収束に向け、ワクチン接種が円滑に進むよう積極的に取り組んでいく必要がある。集団接種の訓練を実施したが、その詳細と課題は。

【答】 会場候補の一つとして予定している保健センターにおいて、運営の問題点や課題の洗い出しを目的とし、ワクチン接種対策チームの職員を中心とした約60人で実施した。実際と同様に設営し、手指消毒から接種後の経過観察までの一連の流れを行った。想定外のエリアにおいて接種者が滞留した事例があり、

【問】 コロナの収束に向け、ワクチン接種が円滑に進むよう積極的に取り組んでいく必要がある。集団接種の訓練を実施したが、その詳細と課題は。